サン・ライフ営業部勉強会

第１回

上田真也

080-8589-7676

日時：2022年7月14日（木）17:00-17:40

場所：サン・ライフ大会議室及びオンライン（講義はオンラインとなります）

内容：講義40分。17:40中締め後18:00まで個別質疑等の雑談

講義予定内容

１　今回の安部さん事件を受けて（17:00-17:20）

　　歴史上のできごとを振り返りながら、この日本に根底に流れる、タテマエとホンネ、

同調圧力というものの正体を論じてみます

　（１）蘇我入鹿と中大兄皇子

1,400年ぶり２回目、蘇我入鹿暗殺レベルの出来事？

平城京と平安京

　（２）昭和天皇とマッカーサー

　　　　天皇を殺さなかった最高司令官（殺せなかった、といったほうが正しい）

　　　　江戸幕府以来の150年ぶりの新しい「将軍」？

　　　　なぜマッカーサーは大統領になれなかったのか

　（３）祟り神

　　　　平将門（関東、武家）、菅原道真（九州、公卿）、崇徳上皇（四国、天皇）

２　仕事を上手に進めるための７箇条（キャリア形成のために）（17:20-17:40）

前文

一生懸命努力しているのに報われないじゃないか。

それは、努力の量が足りないんじゃなくて、やり方が間違っている。

自分でゼロからふんわり考えるな。

第１条　納期を確認せよ

納期と期限の遵守は人としての信用を獲得し、人としての能力を高め、そして、

お金と時間を生みだす。期限を守れ。できない約束をするな。

第２条　成果を合意せよ

仕事を任せる側が、成果を明確にしてから依頼をするケースは少ない。ていうかほとんど

ない。任せる側は、「成果がモヤモヤしていて、考えるのに手間がかかる」「そもそも、自分

じゃできない」から、信頼できる相手にそれを任せるのだ。したがって、相手と会話し、本音を引き出し、成果を合意せよ。成果が合意できれば、北斗の拳並みに、仕事はもう、終わっている。

第３条　仕事を分割せよ

依頼された仕事は、大きな岩の固まりのようなものだ。そのままでは扱うことが出来ないし、誰かの手を借りることも出来ない。 誰かの手を借りたいなら、ノウハウを教えて欲しいなら、スケジュールをつくるなら、とにかく分割せよ。困難は分割せよ。そうして初めて、取り扱う、とりかかることができる。

第４条　難しい仕事から着手せよ

難しい仕事、特に「どうしたら良いかよくわからない」仕事は、思っているよりもはるかに時間がかかる。おそらく仕事ができない、あなたや私のてきとうな見積もりの、実に２倍から３倍はかかる。後になって納期が迫っている時にそれがわかっても手遅れだ。

第５条　行き詰まったら即相談

仕事を任せる側も、仕事を請ける側も、すべてを見通しているわけではない。中には「絶対に無理」な無茶なパワハラな昭和の要求だって存在する。しかしながら、そんなもの、仕事に着手してとりかかってみないとわからない。だから、無理かどうかを確かめる意味でも早く着手せよ。そして、 無理とわかってやり続けるのはお互いにとってマイナスだ。行き詰まったらその際は必ず、仕事の依頼者へ即相談せよ。上司や同僚でもいい。とにかく相談が遅れれば遅れるほど、あなたは爆弾を抱え込み、そしてあなたの信用は低下する。

第６条　説明責任を果たせ

仕事を任せた側は常に不安だ。そして、その不安を解消する責任は、仕事を引き受けた側にある。少なくとも１週間に１回は報告せよ。そして、丁寧な説明を心がけよ。冗長にならず、省略しすぎず、適切な情報開示を心がけよ。資料のわかりやすさ、話のわかりやすさはそのままあなたの信用につながる。

第７条　自分でゼロから考えるな

前例を探せ。ググれ。ＴＴＰ（徹底的にパクれ）。 ゼロから考えることは、「車輪の再発明」と同じで、１００％ムダだ。世の中の、会社の仕事は同じようなことが繰り返されている。まずはググって前例を探せ。何をググっていいかわからないときは、何もなければ友達や、社外の人や、ネットの掲示板に聞け。それでもなければ、本を揃えて、その中で探せ。必ず目的の物はある。

（追記）第８条　人への依頼は早めにし、１から７を守らせよ

仕事は自分だけで完結することは殆どない。他者の協力が必要な仕事はできるだけ早めに依頼せよ。その際に、気をつけることは上の１から７を相手に守らせることだ。逃げるなよ。これは人と人との約束だ。